

大関のこども

2月前半号

R2 校長室だより 第17号
令和3年 2月1日

HP アドレス
<http://www.ozeki.ed.jp>

2021年は、1日早く春が来ました！
「一筆啓上賞」入賞のニュース飛び込む！！

校長 濱辺 弘一

地球の公転周期が、約365.2422日と、1年間の365日から微妙にズれているため、2021年の「立春」は1日早くなり、2月3日になりました。このため、前日の「節分」も2月2日になりました。なんと、明治30年以來の124年ぶりだそうです。春が早くくると聞くと、なんだか気持ちもうれしくなります。

さらに、冬の寒さを吹き飛ばす“うれしいニュース”が飛び込んできました。日本一短い手紙のコンクール「一筆啓上賞」の「笑顔」をテーマにした入賞作品が発表されました。

3年の山本真尋さんの作品が、見事、坂井青年会議所賞に選ばれました。

『 平日の朝、
ママのえがおが十秒つづけば、
世界はみんな、
平和になると思います 』



忙しい朝に笑顔が続かない母親を皮肉に表現しながら子どもらしい平和への願いが伝わってくる作品だと評されました。

また、発表前々日の夏井いつき親子句会ライブに参加した3年生の野路歩花さんの『春のにじ うしろにじゅうが 15回』も、参加者で綴った俳句作りの優秀作品に選ばれました。

このような吉報がもたらされると、自然に、『こいつあ春から縁起が良いわい！』の台詞が口から出てしまいます。子どもたちの素直な感性に驚かされます。子どもたちに必要な力をつけることは学校の本分であることを忘れないで、残り2か月取り組んでいきたいと思います。

コロナに負けない！
8つの約束

- ま** スクで守ろう、自分と相手
- け** んおんで、毎朝体温チェック
- る** ーを守って、コロナ予防
- な** やみがあれば、すぐ相談
- お** おきな声は、ひかえよう
- お** たがいの距離は、ソーシャルディスタンス
- ぜ** んいんで、しっかり手あらい30秒
- き** れいな空気、換気しよう



新入生体験入学！ 大関小学校での1年間を教えてください！！

1年生は、2月9日に行われた「新入生体験入学」での発表に向けて一生懸命取り組みました。1年間大関小学校で学習してきたことやできるようになったことを発表します。どうやったら新入生に伝わるか考えたり工夫したりしながら頑張りました。説明がわかってもらえるように、話し方も考えていました。ゆっくりと、そして、はっきりと話すようにしていました。練習した成果を見事に発揮し、本番でも大活躍でした。



< 練習の様子 >



3年生が校外学習。“安田かまぼこ”と“セーレンプラネット”で学んできました！

3年生は、1月29日（金）に、社会科で学習した「工場で働く人と私たちの暮らし」、理科で学習した「太陽とかげ」のまとめとして、校外学習に出かけました。安田かまぼこでは、ちくわとうおそうめんづくりの体験の後、かまぼこができる機械化された工場内を見学したり、工場で作っている製品について説明を聞いたりしました。セーレンプラネットでは、理科で学習した太陽とかげについて、冬の大三角形と星座について教えてもらいました。素晴らしい全ドームの施設に驚きました。



コロナ禍なので思うように活動できませんが、委員会活動頑張っています！！

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで行っていた委員会活動も見直しを図っています。今、できるアイディアを出し合いながら、活動内容を考えています。給食委員会は、給食週間に合わせて、給食に関するいろいろな問題をクイズ形式で発表しました。図書委員会は、紙芝居の読み聞かせをして、本に親しんでもらえる方法を考えました。保健委員会や放送委員会は、毎日行う通常の活動を継続して取り組んでいます。



<給食委員会>

<図書委員会>

大関きらら独り言

『みんなの学校』というドキュメンタリー映画をご存じですか。いじめを受けて学校に行けなくなった子、発達障害と診断された子など、支援の必要な子がたくさん転校してくる公立小学校でありながら、不登校はゼロ。教室を走り回る子、椅子をがたがたさせる子も、みんな「いつもいっしょ」が当たり前の学校の1年間を追いかけた映画です。この大阪市立大空小学校の初代校長であった木村泰子さんが出版した『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』（青春出版社）を読みました。

大空小学校が大切にする「たったひとつの約束」
・自分がされていやなことは人にしない、言わない

「ルール」ではなくて「約束」です。ルールや校則などの規則は、守らなければいけないもの。破ったら罰があるんです。でも、約束は大人でも守れないことがあります。約束を破ったら、破らない自分になるために「やり直し」をします。

「人を大切にする力」
「自分を表現する力」

「自分の考えを持つ力」
「チャレンジする力」

「正解なんてどこにもない10年後の社会で、どんな力があったらええんやろうね？」と、話し合った結果、見えない学力には4つの力が必要だということにたどりつきました。この見えない学力は、子ども同士の関係性の中でしか育ちません。子ども同士が学び合い、課題を解決する力こそ、社会に出て通用する力なのです。まず、子どもに4つの力をつけさせたかったら、教師自身、親自身が4つの力をつけることです。大人になるために子どもたちは学んでいるわけですから、大人が“4つの力をつけていたら幸せになるよ”ということを伝えなければおかしいじゃないですか。大人が4つの力を大事にしていらないのに子どもにはつけろと言っても説得力がありませんよね。